

## Society 5.0のあり方とAI・ロボティクスの活用の論点

- 2040年頃を見据えたときに、地方自治体は、Society 5.0で実現・普及する技術をどのように活用し、どのように行政サービスを提供することが考えられるか。どのような姿を目指すべきか。
- 2018年の地方自治の実務とAI・ロボティクス利活用の現状と、2040年頃までに目指すべき姿とのギャップはどのようなものか。どのように変わるべきか。
- 「地方自治体におけるAI・ロボティクスの活用」は、様々な角度(※)から議論が可能だが、本研究会として、特にどの切り口から議論すべきか。

※ 例えば、活用することが有効な事務・分野、共同導入の方策、人材育成の方策、個人情報保護との関係など

## 業務プロセス・システムの標準化の論点

- 徹底的にデジタル化が進んだスマート自治体を、2040年頃までに実現すべき自治体の姿として考えるとすれば、そこから逆算して、どういうステップを踏めば、重複投資なく効果的にその姿にたどり着くことができるか。そのために、短期・中期・長期でどのような取組をすることが考えられるか。
- 標準設定型アプローチを取ったときに、所管府省・自治体・ベンダの三すくみを解消して、標準を設定する方策として、どのようなものが考えられるか。